

2014年度 業績予想の修正等について

2014年12月24日
関西電力株式会社

資料 目次

■2014年度 業績予想の修正等について

	(Page)
・業績予想修正等のポイント	2
・2014年度 業績予想(対前年度実績)	3
・2014年度 業績予想の増減説明(個別・対前年度実績)	4

■参考資料

<2014年度業績予想>

2014年度の通期利益予想につきましては、停止中の原子力プラントの再稼動時期が未定であることから、一定の前提を置いて業績を想定することができないため、未定としておりましたが、最近の需給状況等を踏まえ、原子力プラントが年度を通して停止することを前提に、業績予想を算定しましたのでお知らせいたします。

<2014年度配当予想>

期末配当予想につきましては、これまで未定としておりましたが、通期の業績予想が極めて厳しい見通しであることから、無配とさせていただきます。

(単位: 億円)	連結			個別		
	2014予想	2013実績	増減	2014予想	2013実績	増減
売上高	34,400	33,274	(+3.4%) +1,125	30,700	29,582	(+3.8%) +1,117
営業損益	△1,000	△717	(-) △282	△1,450	△1,168	(-) △281
経常損益	△1,350	△1,113	(-) △236	△1,700	△1,229	(-) △470
当期純損益	△1,260	△974	(-) △285	△1,500	△930	(-) △569

<主要データ>

	2014予想	2013実績
販売電力量(億kWh)	1,364	1,404
電灯	467	484
電力	897	921
原子力利用率(%)	0.0	10.9
出水率(%)	96.8	100.1
全日本原油CIF価格(\$/b)	94程度	110.0
為替レート(インターバンク)(円/\$)	110程度	100
金利(長期プライムレート)(%)	1.1程度	1.24

<影響額>

(単位: 億円)	2014予想	2013実績
原子力利用率: 1%	119	113
出水率: 1%	19	19
全日本原油CIF価格: 1\$/b	110	96
為替レート: 1円/\$	125	130
金利: 1%	59	53

* 上記の「影響額」については、一定の前提に基づき算定した理論値であり、前提諸元が急激かつ大幅に変動する場合等には、上記の影響額により算出される変動影響が実際の費用変動と乖離する場合があります。

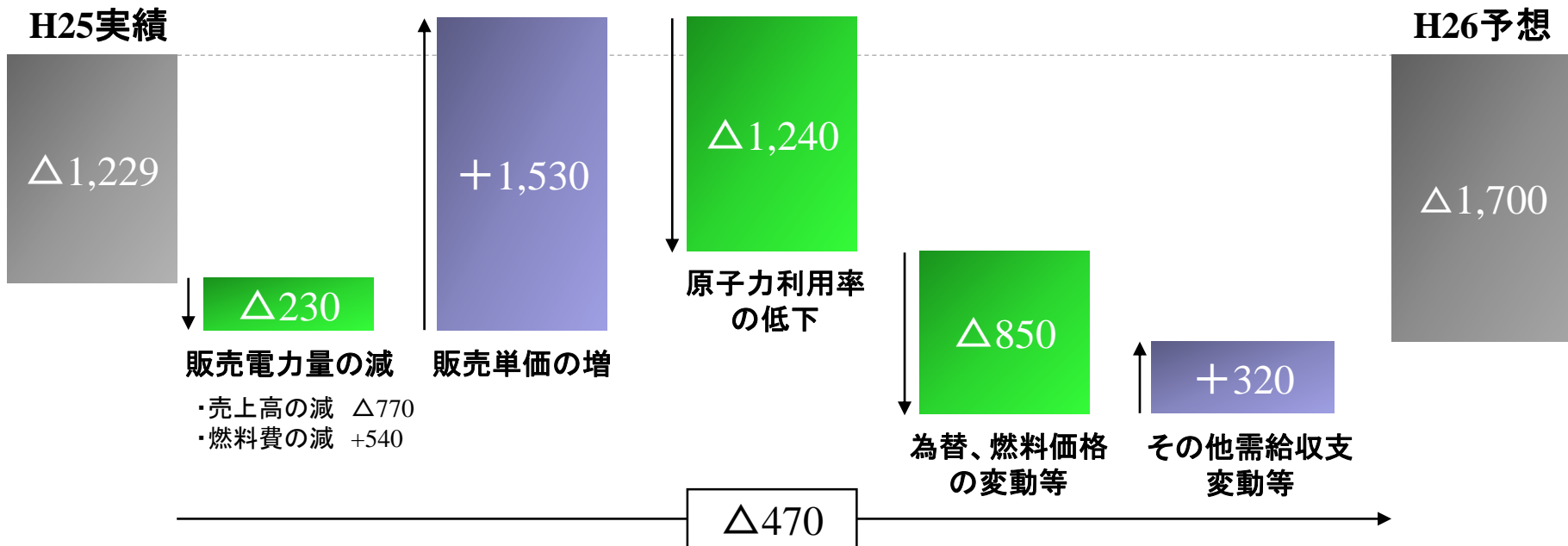
【2014年度配当予想】

	中間	期末	年間
1株当たりの配当金	0円	0円(予想)	0円(予想)

(単位:億円)	H26予想	H25実績	増減	増減説明
売上高	30,700	29,582	+1,117	<ul style="list-style-type: none"> ・販売電力量の減 $\Delta 770$ ・販売単価の増 +1,530
経常損益	$\Delta 1,700$	$\Delta 1,229$	$\Delta 470$	<ul style="list-style-type: none"> ・販売電力量の減 $\Delta 230$ ・販売単価の増 +1,530 ・原子力利用率の低下 $\Delta 1,240$ ・為替、燃料価格の変動等 $\Delta 850$ ・その他需給収支変動等 +320
当期純損益	$\Delta 1,500$	$\Delta 930$	$\Delta 569$	

経常損益の変動要因(対前年度実績)

(単位:億円)



参考資料

(単位:億円)		今回予想	2013実績	増減	増減説明
グループ事業 全体 ※1	外売上高	4,660	4,641	+18	
	経常損益	480	491	△11	
総合 エネルギー ※2	外売上高	1,110	1,102	+7	・ガス販売単価の増
	経常損益	60	42	+17	
情報通信	外売上高	1,710	1,640	+69	<ul style="list-style-type: none"> ・FTTH顧客の増 ・新サービス投入による収入増 ・新サービス投入による費用増 ・信頼度向上対策の費用増
	経常損益	130	172	△42	
生活アメニティ	外売上高	960	1,073	△113	・住宅分譲戸数の減
	経常損益	100	127	△27	
その他	外売上高	880	825	+54	・LNGプロジェクト参画会社の売上増
	経常損益	190	149	+40	

※1 本表の数値は、原則、連結決算上の相殺消去等を行う前の、各社計画及び実績を単純合計した数値である。
(経常損益は持分法適用会社の持分相当額を算入)

※2 附帯事業(ガス事業、燃料販売事業、蒸気供給事業の一部)を含む。

(単位:億円)		今回予想	10月公表	増減	増減説明
グループ事業 全体 ※1	外売上高	4,660	4,640	+20	
	経常損益	480	—	—	
総合 エネルギー ※2	外売上高	1,110	1,110	—	
	経常損益	60	60	—	
情報通信	外売上高	1,710	1,710	—	
	経常損益	130	130	—	
生活アメニティ	外売上高	960	960	—	
	経常損益	100	100	—	
その他	外売上高	880	860	+20	・LNGプロジェクト参画会社の売上増
	経常損益	190	—	—	

※1 本表の数値は、原則、連結決算上の相殺消去等を行う前の、各社計画及び実績を単純合計した数値である。
(経常損益は持分法適用会社の持分相当額を算入)

※2 附帯事業(ガス事業、燃料販売事業、蒸気供給事業の一部)を含む。

ご質問・お問い合わせ等は、下記までお願いします。

担 当： I Rチーム 菊岡、松木、小藪

電話番号： 06－7501－0315

050－7104－1818（菊岡）

050－7104－1812（松木）

050－7104－1781（小藪）

F A X： 06－6441－0569

e－mail： kikuoka.masafumi@b2.*****.co.jp（菊岡）

matsuki.tomohiro@a3.*****.co.jp（松木）

koyabu.kazuki@c3.*****.co.jp（小藪）

「*****」には「kepcO」と記入してください。

本資料に記載されている当社の業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果となる可能性もあることをご承知おき下さい。